

ピアノ界屈指の実力派が魅せるショパン！

爆発的な超絶技巧と溢れる情感

フレディ・ケンプ

—オール・ショパン ピアノ・リサイタル—

REDDY

EMPF

—オール・ショパン・プログラム—

バラード 第2番 op.38

スケルツォ 第2番 op.31

ノクターン 第8番 op.27-2

アンダンテ・スピアナートと
華麗なる大ポロネーズ op.22

* * *

バラード 第4番 op.52

スケルツォ 第4番 op.54

ノクターン 第17番 op.62-1

ポロネーズ 第6番
「英雄ポロネーズ」 op.53

© Neda Navaee

2019 9/22(日) 2:00pm開演 (1:30pm開場)

いずみホール

全席指定 5,000円(消費税込)

主催 / ABC テレビ

3/24(日) 発売

■お問い合わせ

ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000
[平日10:00~17:30] ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

ABCクラシックガイドのホームページ
<https://www.asahi.co.jp/symphony/>

ABC主催コンサート等のイベント情報をご覧いただけます。

※未就学児童のご入場はお断りいたします。※曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

■ いずみホールチケットセンター

06-6944-1188 [10:00~17:30]
※いずみホールでの販売は3/25(月)より

■チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:143-466]

■ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード:53851]

■CNプレイガイド 0570-08-9990

■e+(イープラス) <http://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

■ABCぴあ(webで予約・購入)

ABCぴあ 検索
携帯サイトは
こちら▶▶▶



<http://abc-ticket.pia.jp/>

座席選択が可能! 24時間購入できる!

クレジット決済も可能!! メルマガで優先予約をご案内!!

1度登録すると次回予約が簡単!!

ご予約

フレディ・ケンプ

—オール・ショパン ピアノ・リサイタル—



ピアノ界屈指の実力派が魅せるショパン！

巨匠ヴィルヘルム・ケンプの血を引く実力派ピアニスト、フレディ・ケンプ。1977年ドイツ人の父と日本人の母のもとに生まれたケンプは、わずか8歳でロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団とモーツアルトの協奏曲第12番を共演し、天才ピアニストとして全世界で脚光を浴びました。その後、最年少の14歳でBBCヤング・ミュージシャン・オブ・ザ・イヤー・コンペティションで優勝するなど、現在に至るまで輝かしい歴史を刻んできています。

毎回曲目にこだわりを見せるケンプが今回選んだのはオール・ショパン・プログラム。わずか39年の人生を駆け抜けたピアノの詩人が遺した傑作から前半は20代、後半は30代のショパンの名作がずらりと並びました。

ピアノ界屈指の実力派が贈るこだわりのプログラムで「ショパンの世界」を巡る旅にでかけてみませんか。

フレディ・ケンプ[°] [ピアノ] Freddy Kempf, piano

1977年、ドイツ人の父と日本人の母のもと、ロンドンに生まれる。8歳でロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団とコンチェルトデビュー、1992年、BBCヤング・ミュージシャン・オブ・ザ・イヤー・コンペティションに優勝し、注目を浴びた。1998年、チャイコフスキーオンコールで3位を獲得した際には、聴衆とロシアのプレスから圧倒的な支持を得、“コンクールの眞のヒーロー”と称された。

デュトワ、ペトレンコ、デイヴィス、シナイスキー、シャイー、トルトゥリエ、サヴァリッシュ、ブリバエフ、シモノフなどの指揮者のともと、共演したオーケストラは、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、BBCスコティッシュ交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、バーミンガム市交響楽団、エーテボリ交響楽団、ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団、サンフランシスコ交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、タスマニア交響楽団、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団、台湾国家交響楽団、スロヴェニア放送交響楽団、ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団、モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団、NHK交響楽団など、多数にのぼる。2017-2018年シーズンは、ニュージーランド交響楽団とのツアーや、ルーマニア放送交響楽団とのラフマニノフのコンチェルト第2番、ポーランド国立放送交響楽団とのバルトークのコンチェルト第3番、またバーミンガム市交響楽団とのグリーグのコンチェルトなど、更なる活躍を続けている。

リサイタルも数多く、モスクワ音楽院大ホール、ベルリン・コンツェルトハウス、ミラノ音楽院ヴエルディ・ホール、ロンドン・カドガンホール、ロイヤル・フェスティバル・ホール、マンチェスター・ブリッジウォーター・ホール、シドニー・シティ・ホール、サントリー・ホールなどに登場。最近では、スイスのフリブル国際ピアノシリーズにてデビューを飾った。

BISにて多くの録音を行っており、2010年のプロコフィエフのコンチェルトCD(リットン指揮ベルゲン・フィル)はグラモフォン・コンチェルト・アワードにノミネート、“卓越したプロコフィエフ”などと評され、2012年のガーシュイン作品のCDは、“美しくスタイリッシュ、軽やかでエレガント”などの評を得た。2011年のラフマニノフ、バッハ／ブゾーニ、ラヴェル、ストラヴィン斯基のソロ作品CDも、BBCミュージック・マガジンで絶賛された。2013年のシューマン、2015年にリリースされた最新のチャイコフスキーカDも高い評価を得ている。